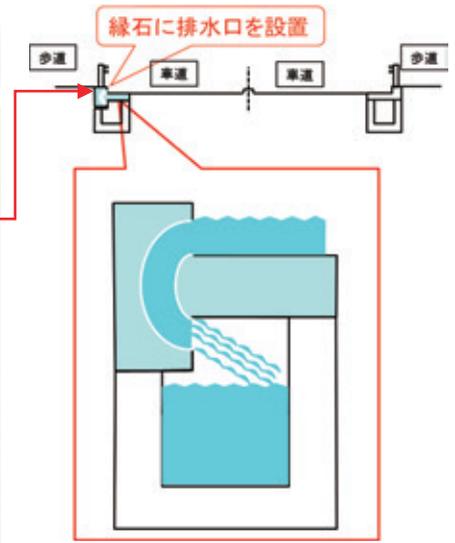


冠水対策で物流の大動脈を守る (沖縄県中城村)

事業者：内閣府 沖縄総合事務局 南部国道事務所

災害時に効果を発揮した3か年緊急対策の事例



側溝改修イメージ



対策名： No.138 道路の排水施設等に関する緊急対策

事業名： 国道329号冠水対策事業

- ポイント**
- 3か年緊急対策により冠水対策を前倒し実施
 - 被災による通行止めが回避され安心・安全な通行機能を確保

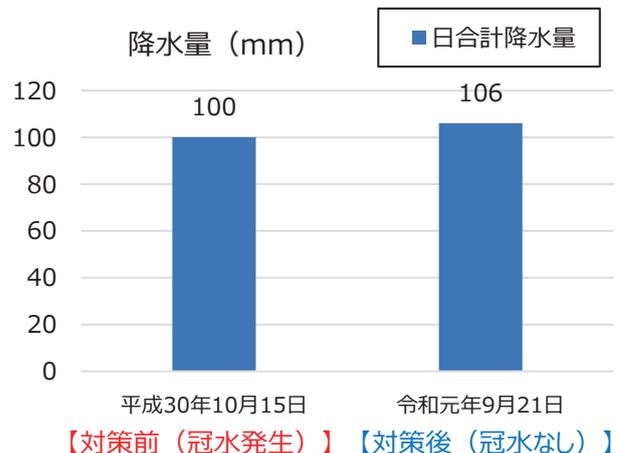
地域の概要・課題

国道329号は、沖縄県名護市～沖縄県那覇市を結ぶ物流の大動脈です。

過去には、平成30年10月の豪雨により、日合計降水量100mmを観測し、災害時に第二次緊急輸送道路である国道329号中城村屋宜地先において、通行規制を伴う冠水が発生しました。

効果

令和元年9月の豪雨では、平成30年10月の豪雨を上回る日合計降水量106mmを観測しましたが、冠水を防止することができました。



事業の概要

平成30年10月の豪雨での被災箇所周辺の道路において冠水対策として側溝の改修及び舗装修繕を行いました。物流の大動脈、第二次緊急輸送道路であることなどを踏まえ、3か年緊急対策として事業を前倒し実施しました。